

# 「新たなタイプの学校」について

## 1. 背景

### 第3期県立高校将来構想第1次実施計画【令和2年7月宮城県教育委員会】【抜粋】

第2章 高い志を育むための高校教育改革の具体的方策

2(2) 学びの多様化への対応

#### ②新たなタイプの学校

学校生活や学習に困難さを抱える生徒が、充実した学校生活を送るためには、学習に対する支援をはじめとした学校生活全般に関する支援体制の構築が必要です。

このことから、時代や社会の変化、生徒のニーズを踏まえて、以下のような「新たなタイプの学校」の設置について検討します。

#### 【コンセプト】

- 多様な学びの機会を提供し、高校での学習や学校活動を通じて、社会的自立に必要な能力を持った生徒を育成する。
- 学習面、情動面双方で個別最適化の視点を重視し、学習者中心の支援を行って、生徒が意欲的、自律的に学べる学校づくりをする。

#### 【手法】

- 確かな学力を身に付けるための基礎学力の定着（学習支援員の配置、学校設定科目やモジュール学習など）
- 相談体制の整備（スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーの支援、特別支援学校のセンター的機能など）
- 体験的な学びを通じた社会の形成者としての自覚と自己効力感及び自己有用感の涵養（企業との連携による活動や就業体験活動、ボランティア等の社会活動など）
- 生徒が意欲的・自律的に学べるような学び方の多様化（単位制の導入、他課程併修制度の活用、ICTの進展を意識した学習や授業の実施）

### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【抜粋】

【令和3年1月26日中央教育審議会】

○目指すべき「令和の日本型学校教育」の姿 = 「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」

○新学習指導要領では、「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えることが示されており、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが必要。

○個に応じた指導 = 指導の個別化（特性や学習進度等に応じた指導方法・教材等）と学習の個性化（興味・関心に応じた学習活動や学習課題）。

「新たなタイプの学校」の設置により、「個別最適な学び」を充実させ、「学びの多様化」に対応していく

## 2. 学校のコンセプト

個々に応じた多様な学び方を提供することにより、生徒自らが高校生活をデザインし、夢や希望を実現することができる学校

- 個々の興味・関心に応じた**学習計画**（単位制，多種多様な教科・科目）
- 個々のライフスタイルに合わせた**学校生活**（幅広い学習時間帯，マイ時間割）
- 個々の事情に対応可能な**学校体制**（相談体制の充実）

## 3. 主に対象となる生徒

個々の状況に合わせて**フレキシブルに学ぶ**ことにより，**自己実現や進路実現を目指す生徒**

- どのような生徒でも自分のペースで勉強できる（単位制，マイ時間割）
- 集団生活が苦手など，様々な背景を抱えた生徒でも安心（フリークラス）
- 生徒の希望する進路の実現や目標の達成に向けてサポート（チューター制）
- 学び直しが必要な生徒へも対応（多種多様な教科・科目）

## 4. 学校の位置づけ

「定時制課程」及び「通信制課程」の機能を併せ持った「全日制課程」とすることを基本として検討する。



### 【設置する課程について】

- 全日制のみとした場合，入口が1つであるため，どのような生徒も学びやすいことが特長であるにもかかわらず，学力に不安のある生徒は入学が難しくなる可能性がある。そのため，学力に不安のある生徒でも入学しやすくなるよう，定時制も併置するという選択肢も考えられる。
- 一方，定時制を併置することにより，教育課程が全日制と定時制で独立する懸念があり，フレキシブルさに欠ける学校となってしまう可能性がある。

## 5. 学校の魅力



## 6. 参考（他県の事例）

| 都道府県名 | 学校名    | 特徴  |
|-------|--------|---|
| 神奈川県  | 川崎高校   | ①設置時期<br>平成 16 年 4 月<br>②設置経緯<br>県立川崎高校と県立川崎南高校の統合<br>③課程<br>全日制及び定時制課程（いずれも単位制）<br>④学科<br>普通科<br>⑤授業時間<br>90 分授業<br>⑥その他の特徴<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・チューター制</li> <li>・自分だけの時間割</li> <li>・定通併修制度</li> </ul>               |
|       | 厚木清南高校 | ①設置時期<br>平成 17 年 4 月<br>②設置経緯<br>厚木南高校の校舎を活用して新設<br>③課程<br>全日制，定時制及び通信制課程（いずれも単位制）<br>④学科<br>普通科<br>⑤授業時間<br>90 分授業<br>⑥その他の特徴<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業（数学，英語），少人数授業</li> <li>・自分だけの時間割</li> <li>・課程間併修</li> </ul> |

| 都道府県名 | 学校名               | 特徴   |
|-------|-------------------|--|
| 広島県   | 広島みらい創生高校<br>(市立) | <p>①設置時期<br/>平成 29 年 4 月</p> <p>②設置経緯<br/>県立広島国泰寺高校，県立広島観音高校，県立海田高校，市立広島工業高校，市立大手町商業高校（定時制），県立西高校（通信制）の統合</p> <p>③課程<br/>定時制（2部制）及び通信制課程（いずれも単位制）</p> <p>④学科<br/>キャリアデザイン科（総合学科）</p> <p>⑤授業時間<br/>50分授業</p> <p>⑥その他の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業（数学，英語），少人数授業</li> <li>・「学び直し科目」（ステップアップ国語・数学・英語など）</li> <li>・チューター制</li> <li>・定通併修制度</li> </ul>                                  |
| 鹿児島県  | 開陽高校              | <p>①設置時期<br/>平成 12 年 4 月</p> <p>②設置経緯<br/>新設</p> <p>③課程<br/>全日制，定時制，通信制課程（いずれも単位制）</p> <p>④学科<br/>全日制：普通科・福祉科<br/>定時制：普通科・オフィス情報科<br/>通信制：普通科・衛生看護科</p> <p>⑤授業時間<br/>90分授業</p> <p>⑥その他の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業</li> <li>・生徒の進路希望等に応じた時間割作成</li> <li>・半期ごとの単位認定の実施や秋入学の定員確保</li> <li>・国数英については，同一科目を学習レベル別に分けた講座（「基礎」「標準」「発展」「探究」）を開設しており，学び直しから難関大進学まで対応（課程により異なる）</li> </ul> |

注) 学校のホームページ等により確認した内容